

百年桜

新旭南小学校
学校だより

令和6年(2024年)

7月19日 文責 前田

学校教育目標

かがやく ひとみ

～自律できるたくましさを育む～



1学期を振り返って

児童会

『今月の生活目標』

＊水分補給をしっかりしよう。

＊チャイムが鳴る前に自分の席に座ろう。

6月下旬から、高温多湿の日々が続き、学校全体として水分補給等の熱中症対策を行い、自分で健康管理に努めるよう呼びかけています。

熱中症警戒アラートが発令されたときは、水泳学習など屋内外での激しい運動を禁止し、涼しい環境が整う室内で過ごすよう指導しています。

学習においては、子どもたちが次の時間の準備をして着席する姿や1学期の締めくくりを意識した学びを深めている場面を感じとれました。

いよいよ、夏休みです。子どもたちには、夏休みの間、健康に留意し、自ら計画を立て、はじめある行動を心がけることで時間を大切に使うしてほしいと伝えています。

ご家庭におかれましては、わが子のできたことを認め、温かいご支援と厳しいご指導の程をよろしくお願い申し上げます。

期末保護者懇談会から……

(1) 堀原 大地先生に関するご質問の回答。

本校在籍の堀原先生は、滋賀大学教職大学院で令和6年度と令和7年度の2年間の研修派遣となり、今年度は、大学院で講義等を受講しながら研修を積み、令和7年度は研究を継続しながら、本校で教育活動を行います。4月の時点で、きちんとご説明をせずにご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

(2) 登下校に関するご質問・ご要望についての回答。

①学年下校の施行期間を経て、1学期後半から子どもたちは、以下のように下校をしています。

月曜日 分団下校(1～3年)

学年下校(4～6年)

※委員会のある日は、4年は

学年下校

火曜日 分団下校(1,2年)

学年下校(3～6年)

水曜日 分団下校(全学年)

木曜日 分団下校(1,2年)

学年下校(3～6年)

金曜日 分団下校(1～3年)

学年下校(4～6年)

日々の交通安全指導をするなか、分団による登下校と学年下校について、以下のように考えています。

(ねらい)

子どもたちがより安心安全に登下校できること。

(分団下校について)

上学年がいることで危険から回避できる可能性が高く、自宅まで複数で帰ることができる。また、基本的なルールや危険箇所などを先輩から後輩へ継承できる。ただし、他学年とのトラブルが多かったり、学年に応じた歩くスピードが保たれなかったりする。

(学年下校について) 少人数の下校になるためスムーズに下校でき、トラブルも学年間での対応

になる。学年に応じたスピードで歩くことができ、校外学習等で下校が遅くなっても対応可。ただし、早い段階で、1人で帰る子どもがいたり、仲の良い子が固まってバラバラになったりすることがある。

【交通安全指導の留意点】 ＊1,2年下校時は、学年担当教員のパトロール。

＊悪天候時は、徒歩で引率しながらの安全指導の実施。

＊自ら安全に登下校できる子どもたちを育てるために、ミニ分団児童会、分団児童会、昼休みにルールが守れない分団への指導を継続。

【今後の協議】 1学期を終え、期末保護者懇談会等のご意見を踏まえ、学年下校を継続していくかを夏季休業中に協議する。また、保護者と地域の方々の声も参考にしながら検討する。その結果を、後日学校だより等でお伝えする。

②登下校時、バスの利用ができないかという要望に関して

「熱中症や降雪時の安全面を考えると、通学バスを用意してもらえないか。」という要望をいただきました。昨今、異常気象が多く、保護者や地域の方々の見守りがあっても、子どもたちの安全確保が難しい状況にあります。学校から市へも引き続き要望したいと思います。

八月から九月の主な予定とお願い

八月五日(月) 六日(火) 五年 フロートイングスクール

一三日(火) ～ 一六日(金) まで

学校閉庁(夏季集中休暇期間)

※本校職員が不在となりますので、緊急の連絡が必要な場合は、高島市役所(二五―八〇〇〇)にご連絡ください。市教委から学校に伝わることになっております。

九月二日(月) 始業式 特別日課 一一時三〇分下校

三日(火) 給食開始 一三時三〇分下校

四日(水) 職員会議 一三時三〇分下校

五日(木) 委員会活動 一、四年は、五校時日課

六日(金) 六年 命を大切にすのいじめ防止講演会

九日(月) クラブ活動

一一日(水) 避難訓練(引き渡し訓練なし)

十三日(金) 六年 放射線出前授業 家読の日

一七日(火) 四年 やまのこ 活動

三年 ふれあい音楽会

一八日(水) 学校運営協議会

一九日(木) 高島市教育研究会教科部会統一研修日

一三時一〇分下校

二一日(土) PTA環境整備作業

二五日(水) 校内研究会

二六日(木) 二年 校外学習

二七日(金) 市陸上記録会(今津運動公園)

三〇日(月) 委員会活動

☆今後の変更等は、九月の学年だより等でご確認ください。
保護者と地域の皆様のご協力により一学期を無事終了できます。教職員一同、心よりお礼申し上げます。二学期もよろしく願います。

お知らせ ①饗庭麗子先生には、4月から休務者補充として大変お世話になり、7月31日(水)をもってご退職されます。

9月2日(月)からは、井上 颯先生が復帰されます。饗庭麗子先生、今まで本当にありがとうございました。

②例年 11月に行われる市の音楽会(ガリバーホール)について、保護者の鑑賞は今年度以降ありません。ただし、学校において校内音楽会を予定しており、そこで子どもたちの発表を観ていただきたいと思っています。お知らせください。

「怒る」と「叱る」の違いが分かっていますか？

怒られて育った子は、回数を重ねるほど性格が歪んでしまいますし、親に対しても反感を持つようになります。一方、叱られて育った子どもは、親がどれだけ自分のことを愛してくれているかをちゃんと解っていますから、親子関係も良好で真っすぐ健やかに育つことでしょう。人生において何らかの壁にぶつかったとしてもけっして潰れることなく生きていけます。このように「怒る」と「叱る」では全く逆の結果を招いてしまうのです。

多くの親御さんが子育てには「結果を褒める」と「やらかしたことを怒る」をセットで捉えているようですが、できれば「結果に至ったプロセスを認める」と「やらかした行為の前に湧いたであろう動機についてと、子どもなりの言い分をしっかりと聴き切った上で叱る」に変えてもらえたら・・と願うばかりです。

そもそも「怒る」とは自らの中に湧いた不快な感情を相手にぶつけているだけの行為であり、冷静さを失っているために相手の心情など理解しないまま酷い言葉を浴びせてしまいます。おそらく大声で怒鳴っていますよね。

怒りをぶつけられた子どもは委縮し、浴びせられた言葉に傷つきますし、怖くて反論することもできないまま悔しい気持ちを否応なく呑み込んでしまうでしょう。この感情は捌け口を求めて他者に向くことになります。

では「叱る」とは、どういった行為なのでしょう。叱るとは冷静ながらも相手に対して何が必要かを判断した上で敢えて意図的に行なう行為です。冷静ですから大声を出すこともありません。むしろ言葉も選ぶでしょうし、伝えようとする言葉には我が子に対する思いやりや優しさが含まれていますから、子どもは親からの「愛情」を感じつつ、反感を持つこともなく神妙な面持ちでしっかりと話を聴くのではないのでしょうか。

この「叱る」という行為は、あくまで「相手のため」であり、正しくしっかり育てほしいという願いと共に、子ども自身にとって社会で生きていくために必要なことから・・という想い(願い)が込められています。

SSW すずきしゅうち (*^_^*)